

国際日本学部 2023 年度夏期 海外ボランティア・プログラム

参加報告書（インドネシア・ブディルフル大学）

① 本プログラム参加のきっかけ・目的について（200 字以上）

今年度の夏季休業中には旅行先としてあまり馴染みのない都市に行ってみたいという気持ちがあり、そして本プログラムが国際日本学部であるからこそ挑戦できるものだという事に魅力を感じたため、参加を決意した。大学での活動としては、日本文化を発信することが中心であると知り、普段からアニメや漫画に親しんでいる私だからこそ、伝えられる何かがあるのではないかと考えた。また、インドネシアには日本文化に興味を持っている人々が多いという漠然としたイメージがあり、日本とは違う視点から見た日本文化がどのようなものであるか興味があった。

② プログラム内容について（各項目 200 字以上）

1. ボランティア活動・ワークショップについて

最も印象に残っているのが、2 日間かけて行ったワークショップである。ワークショップには、ブディルフル大学の学生だけではなく、周辺の高校の生徒や先生に参加して頂いた。内容としては、木目込みの作り方・カタカナの書き方・日本語の簡単な会話・たこ焼きの作り方の 4 つについてグループに分かれて教える、というものだった。初対面の、その上バックグラウンドの違う人々にどのように接するべきか不安だったが、参加者の皆さんが日本について非常に興味津々で、日本語の授業やクラブの影響である程度話せる方も多く、積極的に日本語で話しかけて下さったおかげで、私たちも交流を楽しむことができた。4 つの活動以外の時間で、好きな日本のアニメやアーティストについて熱く語り合う中で、日本文化が愛されているということを実感し、非常に嬉しかった。

2. 授業（インドネシアの歴史や文化、インドネシア語）について

ブディルフル大学のどの先生、どの生徒も非常にフレンドリーで親切だったため、インドネシア語やインドネシアの文化について気兼ねなく質問しながら学ぶことができた。インドネシア語の授業は週 2 回、各 50 分間ほどあったのだが、基本的な挨拶から日常で使える定型文まで、短期間にしては多くの内容を教わった。インドネシア語の発音に馴染みがなく難しかったが、一人一人指されて発音が正確にできているかチェックしてもらえると非常に役に立って、簡単な会話はできるようになった。

3. フィールドトリップ（バンドンツアー）について

フィールドトリップでは、バンドンという寮から約 3 時間ほどの場所にある避暑地へ行った。バンドンでは、夜に市街の散策を楽しんだり、アングルンという伝統的な楽器を体験したり、観光を楽しむことができた。一泊ではあるが、ホテルに滞在するという寮生活とはまた違った経験ができて良かった。ブディルフル大学の学生は別の施設に滞在していたが、行き帰りのバスで沢山話すことができて楽しかった。大学での活動は予定が詰まっていた忙しかったのに対し、この 2 日間はゆっくり身体を休めることができた。

③ 本プログラムを終えての学習成果・感想（200字以上）

本プログラムを通して、環境に適応することの重要性とその難しさを実感した。四六時中集団生活をするためストレスを感じたり、食生活等が原因で体調を崩したり、辛いことも多かった。しかし、終盤には生活リズムやインドネシアの料理・文化に慣れ、そしてインドネシア人の友達が何人もできた。インドネシアでは宗教的な影響が大きい文化が形成されているため、宗教について認識を深めることができたのも大きな収穫だった。今まで経験したことがないようなことに対して、寛容な姿勢で向き合うことで、新しい発見が得られる3週間だったと思う。

④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

寮周辺の治安は良い方だ。車通りの多い地域ではあるが、寮の周りは閑静な住宅街であるため、1人2人で出歩いても問題ない。ただ、夜道は明かりが少なく危ないので、集団で動くようにした方が良い。次に、キャンパスについてだが、寮からキャンパス内部までは貸切のスクールバスで行くことができるため、治安を心配することは無かった。ただし、交通状況が日本とは全く異なり、信号機のない場所が多く、人が整備する地区もあって不安にはなる。トイレにはティッシュペーパーを忘れずに。

2. 食事について

油っぽい食べ物が好まれる傾向があると思う。辛いものはとてつもなく辛いし、甘いものはとてつもなく甘い。

3. 交通手段について

Grabという配車アプリでバイクやタクシー（普通の車）を利用することができて便利。ジャカルタの都市部はバスや電車も整っている。

4. 通信環境について

寮内にはWi-Fiが整っている。たまに通信速度が落ちる。

5. 買い物事情について

モールに行く機会が多かったため、何度も買い物する時間があった。衣料品はそこまで日本での価格と差がないのに対し、スーパーに売っているような食料品は非常に安価である。私は、「mixue」というジュース店の安さに驚いた。（日本の三分の一位の値段でタピオカジュースが飲める）

6. 医療事情について

滞在中、体調を崩すメンバーが多かった。私も、留学後半に体調を崩し、病院を受診した。病院に行くことが不安だったが、友達と一緒に行くことができて安心だった。病院では、問診と点滴（約3時間）、薬の処方をして頂いた。常備薬として整腸剤や下痢止めを持ってはいたのだが、なかなか効かず、約2日間高熱が下がらなかったが、処方された薬はすぐに効いた。本当に不安だったが、ルームメイトと一緒にいった国日の皆のおかげで回復することができた。

7. その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

<寮について> 国日のメンバーと協力し合って掃除したり、整理整頓を心がけると良いと思います。

以上